

令和5年度

各教科の評価・評定の方法について

荒川区立第三中学校

もくじ

- 1 観点別学習状況評価の表記について
- 2 各教科から 評価・評定の方法について

国語

社会

数学

理科

音楽

美術

保健体育

技術・家庭

外国語（英語）

1 観点別学習状況評価の表記について

【観点別学習状況】

観点別学習状況	評価	目安となる達成度
A	「十分満足できる」状況と判断されるもの	80%以上
B	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの	50%以上～80%未満
C	「努力を要する」状況と判断されるもの	50%未満

【評定】

評 定	評価	目安となる達成度
5	「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの	90%以上
4	「十分満足できる」状況と判断されるもの	80%以上～90%未満
3	「おおむね満足できる」状況と判断されるもの	50%以上～80%未満
2	「努力を要する」状況と判断されるもの	20%以上～50%未満
1	「一層の努力を要する」状況と判断されるもの	20%未満

国語科 評価・評定について

担当者：白鳥・片岡・大島

1 観点と評価の説明

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観点の 評価規準	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
割合	年間を通して平準化するように計画しています		
評価資料例	定期テスト・小テスト・漢字テスト・短作文・書写作品・ノートへの記入の様子、等。	授業における発言や聞き取りの様子、発表・朗読・暗唱テスト、定期テスト、小テスト、ノートへの記入の様子、作文・作品・宿題や課題などの提出物、等。	授業における態度や発言状況、ノートへの記入の様子、宿題や課題などの提出物へ取り組みや工夫、定期テスト、問題集やワークへの取り組み、等。
教科からの留意点	それぞれの観点については定期テストを中心に、その他の資料を適切に取り入れたうえで評価する。	読書感想文、小論文コンテスト、調べる学習コンクールの作品を入れる場合がある。これらは実施した時期のみ評価資料となる。	読書感想文、小論文コンテスト、調べる学習コンクールの作品を入れる場合がある。これらは実施した時期のみ評価資料となる。

2 観点別学習状況評価の表記について

【観点別学習状況】

観点別学習状況	評価	
A	80%以上	十分満足できる状況と判断されるもの
B	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
C	50%未満	努力を要する判断されるもの

【評価】

評価	評価	
5	90%以上	十分満足できるもののうち、特に程度が高い状況と判断されるもの
4	80%以上～90%未満	十分満足できる状況と判断されるもの
3	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
2	20%以上～50%未満	努力を要する状況と判断されるもの
1	20%未満	一層の努力を要する状況と判断されるもの

社会科 評価・評定について

担当者：加藤雅・小坂・小野・三瓶

1 観点と評価の説明

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観点の 評価規準	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
割合	年間を通して平準化するように計画しています		
評価資料例	定期考査 小テスト 各種提出物 ワークシート	定期考査 小テスト 各種提出物 ワークシート グループ活動や発表活動	授業観察 各種提出物（テスト直し含む） ワークシート
教科からの 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 各種提出物については、その都度に提出日時や提出方法を連絡いたします。 ワークシートは授業時の記入具合を評価の対象としています。 小テストを実施する場合は、その都度連絡いたします。 評価資料例の内容は年間を通したものです。学期によって行わない場合もあります。 		

2 観点別学習状況評価の表記について

【観点別学習状況】

観点別学習状況	評価	
A	80%以上	十分満足できる状況と判断されるもの
B	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
C	50%未満	努力を要する判断されるもの

【評定】

評定	評価	
5	90%以上	十分満足できるもののうち、特に程度が高い状況と判断されるもの
4	80%以上～90%未満	十分満足できる状況と判断されるもの
3	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
2	20%以上～50%未満	努力を要する状況と判断されるもの
1	20%未満	一層の努力を要する状況と判断されるもの

数学科 評価・評定について

担当者：千葉・春谷・梅本・山本

1 観点と評価の説明

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観点の 評価規準	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。
割合	年間を通して平準化するよう計画しています		
評価資料例	定期考査 定着度確認テスト 小テスト等	定期考査 定着度確認テスト 小テスト等	授業観察 問題集 授業用ノート（テスト直し含む） 課題・宿題
教科からの 留意点	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 定着度確認テストとは、単元にしばられず、必要に応じて定着度を確認するためのテストです。実施は必ず事前に連絡します。 小テスト等（随時） 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 定着度確認テストとは、単元にしばられず、必要に応じて定着度を確認するためのテストです。実施は必ず事前に連絡します。 小テスト等（随時） 	授業態度・発言等（各授業） 問題集（定期テスト毎） 授業用ノート（定期テスト毎） 課題・宿題

2 観点別学習状況評価の表記について

【観点別学習状況】

観点別学習状況	評価	
A	80%以上	十分満足できる状況と判断されるもの
B	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
C	50%未満	努力を要する判断されるもの

【評価】

評価	評価	
5	90%以上	十分満足できるもののうち、特に程度が高い状況と判断されるもの
4	80%以上～90%未満	十分満足できる状況と判断されるもの
3	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
2	20%以上～50%未満	努力を要する状況と判断されるもの
1	20%未満	一層の努力を要する状況と判断されるもの

理科 評価・評定について

担当者：小山(1年)・宮崎(2年)・小谷野(3年)

1 観点と評価の説明

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観点の 評価規準	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
割合	年間を通して平準化するよう計画しています		
評価資料例	発言や記述の内容(提出物・レポート) 定期考査 小テスト 行動の観察	発言や記述の内容(提出物・レポート) 定期考査 小テスト	発言や記述の内容(提出物・レポート) 行動の観察
教科からの 留意点	小テストは必要に応じて行う。実技テストを行うこともある。 実験・観察の際にはレポートを作成する。	小テストは必要に応じて行う。 実験・観察の際にはレポートを作成する。	学習の振り返りを行う。 実験・観察の際にはレポートを作成する。

2 観点別学習状況評価の表記について

【観点別学習状況】

観点別学習状況	評価	
A	80%以上	十分満足できる状況と判断されるもの
B	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
C	50%未満	努力を要する判断されるもの

【評価】

評価	評価	
5	90%以上	十分満足できるもののうち、特に程度が高い状況と判断されるもの
4	80%以上～90%未満	十分満足できる状況と判断されるもの
3	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
2	20%以上～50%未満	努力を要する状況と判断されるもの
1	20%未満	一層の努力を要する状況と判断されるもの

音楽科 評価・評定について

担当者：阿久津

1 観点と評価の説明

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観点の 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p>	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
割合	年間を通して平準化するように計画しています		
評価資料例	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・定期考査 ・表現活動、鑑賞活動、創作活動 ・実技テスト ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・定期考査 ・表現活動、鑑賞活動、創作活動 ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・提出物 ・自己評価カード ・実技テスト ・表現活動、鑑賞活動、創作活動
教科からの 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業でプリントを提出する場合があります。 		

2 観点別学習状況評価の表記について

【観点別学習状況】

観点別学習状況	評価	
A	80%以上	十分満足できる状況と判断されるもの
B	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
C	50%未満	努力を要する判断されるもの

【評定】

評定	評価	
5	90%以上	十分満足できるもののうち、特に程度が高い状況と判断されるもの
4	80%以上～90%未満	十分満足できる状況と判断されるもの
3	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
2	20%以上～50%未満	努力を要する状況と判断されるもの
1	20%未満	一層の努力を要する状況と判断されるもの

美術科 評価・評定について

担当者：佐野 由香里

1 観点と評価の説明

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観点の 評価規準	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
割合	年間を通して平準化するよう計画しています		
評価資料例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品 ・ 鑑賞活動 ・ ワークシート、プリント ・ クロッキー帳（アイデアスケッチ等） ・ 定期考査 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品 ・ 試作品 ・ 鑑賞活動 ・ ワークシート、プリント ・ クロッキー帳（アイデアスケッチ等） ・ 定期考査 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内の発言、発表 ・ 制作や鑑賞に取り組む態度 ・ ワークシート・プリント ・ クロッキー帳（アイデアスケッチ等） など
教科からの 留意点			

2 観点別学習状況評価の表記について

【観点別学習状況】

観点別学習状況	評価	
A	80%以上	十分満足できる状況と判断されるもの
B	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
C	50%未満	努力を要する判断されるもの

【評定】

評定	評価	
5	90%以上	十分満足できるもののうち、特に程度が高い状況と判断されるもの
4	80%以上～90%未満	十分満足できる状況と判断されるもの
3	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
2	20%以上～50%未満	努力を要する状況と判断されるもの
1	20%未満	一層の努力を要する状況と判断されるもの

保健体育科 評価・評定について

担当者：金子・小高・向井

1 観点と評価の説明

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観点の 評価規準	各種の運動の特性に応じた技能等及び 個人生活における健康・安全について理 解するとともに、基本的な技能を身に付 けている。	運動や健康についての自他の課題を発見 し、合理的な解決に向けて思考し判断した り、他者に伝えたりしている。	生涯にわたって運動に親しむとともに健 康の保持増進と体力の向上を目指し、明る く豊かな生活を営もうとしている。
割合	年間を通して平準化するように計画しています		
評価資料例	<ul style="list-style-type: none">・定期考査・授業観察・実技テスト	<ul style="list-style-type: none">・学習カード・授業観察・提出物・定期考査・実技テスト	<ul style="list-style-type: none">・授業観察・提出物・学習カード
教科からの 留意点	単元ごとに複数回の実技テストを行いま す。		

2 観点別学習状況評価の表記について

【観点別学習状況】

観点別学習状況	評価	
A	80%以上	十分満足できる状況と判断されるもの
B	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
C	50%未満	努力を要する判断されるもの

【評定】

評定	評価	
5	90%以上	十分満足できるもののうち、特に程度が高い状況と判断されるもの
4	80%以上～90%未満	十分満足できる状況と判断されるもの
3	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
2	20%以上～50%未満	努力を要する状況と判断されるもの
1	20%未満	一層の努力を要する状況と判断されるもの

技術・家庭科 評価・評価について

担当者：桑野(技)・小林(家)

1 観点と評価の説明

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観点の 評価規準	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
割合	年間を通して平準化するように計画しています		
評価資料例	【技術分野】 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査（知識） ・作業の様子（技能） ・作品の正確さ（技能） 	【技術分野】 <ul style="list-style-type: none"> ・設計、レポートの内容 ・ファイル ・（定期考査） 	【技術分野】 <ul style="list-style-type: none"> ・ファイル ・作業の様子 ・作品
	【家庭分野】 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物（ノート等） ・作品の正確さ 	【家庭分野】 <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・提出物（ノート等） ・作品の工夫 	【家庭分野】 <ul style="list-style-type: none"> ・提出物（ノート等） ・作業の様子 ・作品の丁寧さ
教科からの 留意点	全ての観点は、技術分野50%+家庭分野50%=100%で算出する。		

2 観点別学習状況評価の表記について

【観点別学習状況】

観点別学習状況	評価	
A	80%以上	十分満足できる状況と判断されるもの
B	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
C	50%未満	努力を要する判断されるもの

【評定】

評定	評価	
5	90%以上	十分満足できるもののうち、特に程度が高い状況と判断されるもの
4	80%以上～90%未満	十分満足できる状況と判断されるもの
3	50%以上～80%未満	おおむね満足できる状況と判断されるもの
2	20%以上～50%未満	努力を要する状況と判断されるもの
1	20%未満	一層の努力を要する状況と判断されるもの

外国語（英語）科 評価・評定について

担当者：齊藤・能美・加藤恵・宮川・小島

1 観点と評価の説明

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
観点の 評価規準	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる4技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
割合	学年ごとに割合を調整しています。		
評価資料例	定期考査 パフォーマンス活動 リスニングテスト インタビューテスト	定期考査 パフォーマンステスト リスニングテスト インタビューテスト	レポート・作品など 授業観察 振り返り活動 パフォーマンステスト インタビューテスト

教科からの留意点【各領域の評価結果の例】

	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと	観点別 評価	評定
知識・技能	b	b	c	c	b	B	3
思考・判断・表現	b	b	c	b	c	B	
主体的に取り組む態度	b	a	b	a	c	B	